

※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。


情報提供用資料
2025年3月24日

CAMベトナムウィークリー(先週のVN指数：3/14-3/21)



	週間	月間	YTD
VN指数	-0.32%	1.27%	4.35%
VN30指数	-0.63%	1.61%	2.49%
VN中型株指数	0.12%	-1.58%	3.30%
VN小型株指数	-0.77%	-3.46%	1.31%

先週のVN指数は1326.15ポイントから1321.88ポイントへと0.32%の下落に転じました。ベトナム市場は世界の主要市場が上昇する中、堅調なスタートとなりましたが、その後は8週連続で上昇してきたこともあり、利益確定の売りに押される展開となりました。また、トランプ米政権がベトナムに対して関税強化に動く可能性も意識されました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が-0.63%と続落しましたが、中型株指数は+0.12%と小幅ながら反発しました。一方、小型株指数は-0.77%と続落しております。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	0.26%	-0.43%	-6.06%

通貨ベトナムドンにつきましては、米ドルに対して横ばい圏での推移となりました。一方、ドル・円相場は、週前半に米景気減速への警戒感が和らぐ中、ドル高・円安となりました。週末にかけては、米連邦公開市場委員会で政策金利の据え置きが決まり、参加者の政策金利見通しでは、年内に2回利下げする見通しが維持されたことで米長期金利が低下し、ドル売り・円買いにつながりましたが、週間ではドル高・円安となりました。ベトナムドンは円に対して+0.26%と小幅な上昇を続けております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	-0.1%	素材	-1.4%
不動産	0.7%	公益事業	1.5%
生活必需品	-2.1%	エネルギー	0.1%
一般消費財	-1.0%	情報技術	-2.5%
資本財	0.0%	ヘルスケア	1.0%

セクター別に見ますと、5セクターが下落しました。特に右下から2番目の情報技術が-2.5%と続落し、左真ん中の生活必需品が-2.1%と下落に転じました。一方、右上から2番目の公益事業が+1.5%と反発し、その左の不動産が+0.7%と続伸しております。

銘柄名[ティッカー]	騰落率
サイゴンハノイ銀行（金融）[SHB]	+9.8%
ベトナムゴム工業グループ（素材）[GVR]	+3.8%
ビンググループ（不動産）[VIC]	+1.5%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
TPバンク（金融）[TPB]	▲8.4%
マサングループ（生活必需品）[MSN]	▲4.5%
FPT（情報技術）[FPT]	▲2.6%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、大手民間銀行のサイゴンハノイ銀行が+9.8%と続伸しました。また、ベトナムゴム工業グループが+3.8%と上昇に転じ、複合企業のビンググループが+1.5%と上昇を続けました。一方、下落銘柄は中堅民間銀行のTPバンクが-8.4%と下落を続けました。また、複合企業のマサングループが-4.5%と反落し、情報技術大手のFPTが-2.6%と続落しました。

VN指数直近1年の推移



VN指数は9週ぶりに小幅の下落となりました。トランプ米政権の関税政策をめぐる不透明感など、引き続き注意が必要ですが、ベトナムの企業業績は、一部の主要企業が1-2月に2桁の増収増益を示すなど堅調に拡大していると見られます。一方、バリュエーション面では足元の予想PERが10倍程度と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上